

お題『世紀末の私』

あけましておめでとうございます。さて、「世紀末」はみんな初体験ですよ？今の世界には前回の世紀末を経験している人は一人もいないはずですよ。そう思うとなんかすごいことのような気がします。そのすごそうな世紀末、私にとってどんな年になるのでしょうか？

今年の目標は、まず健康に過ごすということ。私は昔から本当にしょっちゅう風邪をひくので、今年はちゃんと気をつけようと思います。いつも気をつけてるんですけどね。それ以上に気をつけます。

目標その2は、時間に惑わされないで生きるということ。99年の反省はいろいろありましたが、いつのまにか自分の時計がわからなくなってしまったのかな？って思ったことがそのうちのひとつです。どういうことかっていうと、ここ2~3年の短い間にあまりにもいろんなことが起こって、からだと言葉のバランスがいまいちとれなくなってしまった気がするんです。時間がびゅんびゅん過ぎて、景色が高速に過ぎていくっていうか、、、だからって、いいかげんにしてやってきたっていう意味ではもちろんありません。いつでもなんでも真剣でした。それに楽しくて、幸せでした。

ただそれとは別に、心が何か言う前に行動したり、じっくり考える間もなく決断したり、そうやってどっかで必要以上に急いでいた部分はあるように思うのです。どんなに高速に過ぎる景色の中にも、自分のからだの中にある時計はいつも一定だということを忘れてたかもしれません。

例えば「マイペースで頑張ろう」って
言ってみたあとで、「これが私のペース？」と疑問に感じたり、「自分らしくいよう」と言っても「私らしいってどんなこと？」ってわからなくなったり、本来持ってるはずのものがぼやけてしまうようなこと、皆さんもありませんか？



そんな私が一番ちゃんと自分と向き合えるのは、詩を書こうとするときでした。今の自分を知らう、何が大事で何が嫌いで何を言いたいのか、いちいち考える。私は詩を書くという時間のおかげで、その度に自分を確かめられたと思うのです。だからその機会があることに感謝しています。私は自分のパーソナルなことしか詩にしたことがないし、今はそういう詩しか書けない気がします。いつか自分の力でバランスが保てるようになれば、もっと違う視点から詩を書けるようになるかもしれませんね。

私は未だに何が自分らしいってことかよくわかんないまま、二十歳をむかえようとしています。子供のころは、二十歳なんてすごい大人で、なんでもできてなんでも知ってるんだらうと思ってたのに、実際はこんな感じなのですね。それでも一般世間はこぞって大人扱いをし始めます。だから甘えるのもこれからは控えなくてはいけないのですね。寂しいことです。

私の10代は、高速でしたが最高でした。きっと高速と感じるほどに充実していたのだと思います。たった20年の間に数えきれないほどの人と出会い、たくさんを知って、たくさん忘れて、泣いたり怒ったり、寝たり食べたり、つまづいたり恋したり、あれよあれよと育ったり、なんか盛り沢山でした。でもこれから先の何十年かの人生、それ以上にいろんなことがあるかもしれません。私がいつも自分の時計で動けるように心がけながら2000年を過ごしたいと思います。

世紀末に二十歳の、坂本真綾でした。

* maaya *